

36年産米

予約は8月いっぱい

米価は11,052円50銭

昭和36年産米の集荷目標が158.550俵(60キログラム入)とまとまりました。これは、昨年当初の集荷目標より29.450俵も多い数量ですが、しかし実際の集荷量152.217俵から見れば、わずかに6.333俵上廻っているにすぎません。

予約申込の受付期間は8月31日までで予約量150キログラム(1石)当り2,000円の予約前渡金が支払われます。

過去の実績や、今年の作柄などを勘案して、早やめに予約をすませましょう。

ところで、今年の米価は、昨年とくらべて150キログラム当り935円高の、11.052円50銭(1~4等農家手取平均、包装代込み)になっています。(消費者米価は据置き)

36年産米政府買入れ価格

(一) 基準価格(150キログラム当り)は10.615円50銭(運搬費相当額35円50銭を含む)とし、これに次のような加算がなされます。

(1) 時期別格差(早場米奨励金)

9月30日まで 800円(俵当り320円)
10月10日まで 600円(" 240円)
10月20日まで 400円(" 160円)

本宮線へ定期バス運行

8月10日から、待望の本宮線(麓西線)に定期バスが運行されました。

かねてからの強い要望が実現したとあって、関係部落では12日杉沢小学校を会場に秋北バスなど関係者を招いて賑やかな祝賀の会を開きました。

本宮線は大館駅から扇田をとおり、二井田中台から本宮までの間を往復運転するもので、片道40分。1日の運転時刻はつぎのようになっています。

大館駅発	本宮着	本宮発	大館駅着
6.25	7.05	7.40	8.20
6.55(二井田折返し)			
7.15	7.55	8.30	9.10
9.45(二井田折返し)			
10.40	11.20	12.00	12.40
12.35(三浦一板沢経由大館駅行)			
15.25	16.05	16.45	17.25
17.10	17.50	18.25	19.05
18.30(二井田折返し)			

また真中まわり早口ゆきは、田中橋工事のため二井田の迂回コースをとっていましたが、10日から田中橋で乗りつき、運行を再開しています。

このほか、釈迦内獅子ヶ森地域にも定期バスの運行をはかるべく、目下秋北バスが申請中で、早期実現を期待されています。

10月31日まで 200円(俵当り80円)
(2) 等級別格差(3等を基準として)
1等 +400円(俵当り+160円)
2等 +200円(" +80円)
4等 -200円(" -80円)

5等 -700円(俵当り-280円)

(二) 包装代

二重俵 1俵(60キロ入) 161円
複式俵 1俵(") 133円
かます 1かます(") 96円
紙袋 1袋(30キロ入) 26円
麻袋 1袋(60キロ入) 145円

(三) 申込加算 100円(俵当り40円)

(四) もち米加算 水稻もちについて562円50銭(俵当り225円)

いましばらくのご辛抱

国県道路工事たけなわ

国体をひかえて、いま市内の国県、道路工事がたけなわ。国体までには、ほとんどが完成さるが工事中の混雑はひとしお。ゆづり合う心でいましばらくのご辛抱をと、工事関係者はのぞんでいます。そこで、いま行われている工事について見ます。

◆雪寒道路工事として

- ① 国道7号線片山地内、延長1.360m、車道幅員(以下同じ)6mの路面改良工事を合資会社佐藤組が。
- ② 国道7号線釈迦内地内、延長1.370m、巾員7mの路面改良工事を、築館組が
- ③ 国道十和田大館線平内地内、延長4.25m、巾員6.5mの路面改良を平和建設

以上の3工事は、それぞれ本年4月29日から起工していますが、8月26日を期限として完成されます。

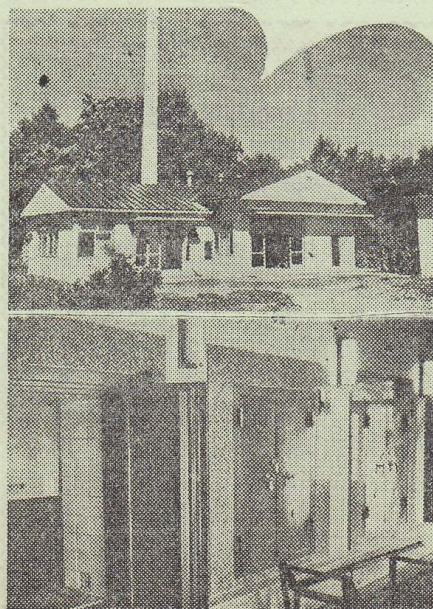
◆舗装工事としては

- ① 国道宗福寺線、延長718m、巾員9mのアスファルト舗装を東邦工業株式会社で7月1日に起工し、10月16日が竣工期限となっていますが、9月いっぱいには舗装部分を完了する見通しです。
- ② 国道十和田大館線池内地内、延長1000m、巾員5.5mのコンクリート舗装補修工事は株式会社伊藤組が5月3日から起工し、9月19日を竣工期限に。
- ③ 国道7号線板子石地内、延長700m、巾員6mのコンクリート舗装補修工事は、桜場組が5月3日から起工し、8月30日を竣工期限に。
- ④ 国道十和田大館線鍛冶町地内は都市計画街路事業としての舗装工事で、延長は266.9m、巾員12m、コンクリート一部アスファルト舗装とする。工事施行者は株式会社伊藤組。起工7月2日で、竣工期限は9月30日となっています。このため9月10、11日の祭典には間にあわず、片側通行になろうと工事関係者はみている。

5日から新火葬場で

市営火葬場が完成、去る5日火入式を行いました。新火葬場は炉室、祭場、待合室、湯わかし場などが完備された近代的なもの。火葬炉は3基、重油バーナーによるもので、まえよりも4~5倍も能力が高い。火葬炉3基のうち2基が寝棺用であるので、特別な事情のないかぎり寝棺にしてほしいと係ではのぞんでいます。

(写真—上新火葬場全景、下二重扉で金庫をおもわせるような火葬炉の前面)



◆その他道路橋梁工事としては

- ① 県道真中線の田中橋(田中小橋)架替工事、延長75m、巾員6mは、株式会社伊藤組で7月2日起工し、11月18日を下部工の竣工期限としています。上部工も明年3月いっぱいには完成される見込。
- ② 県道大館、小坂線新設改良工事のうち大明神橋、延長38m、巾員5.5mは、やまさ組により7月2日起工し、9月21日を下部工の竣工期限としています。上部工は明年度の見込。
- ③ また同じく、大館、小坂線道路の新設新沢地内576mは、9月上旬着手される見込。